

協カアーティストご紹介

あんべ光俊

1976年8月、バンド「飛行船」としてシングルレコード「遠野物語」を発表。これまでの代表作として「星の旅」「君が好き」「イーハトーヴの風」があり、坂本九「星のしずく」、オフコース「一億の夜を超えて」、時任三郎「LONG RUN」などの提供曲などで知られる。2001年に『とっておきの音楽祭』仙台設立メンバーとなる。現在、全国の『とっておきの音楽祭』でみなさんに愛され歌われているテーマソング「オハイエ」の作詞・作曲者としてとっておきファンに愛されている。



ペッカー

日本パーカッション界の草分け的存在。1977年に渡米し、ブラック&ラテン系ミュージシャンとのセッションを重ね、帰国後に日本発のサルサ・バンド、オルケスタ・デル・ソルを結成。数多くの作品を発表。80年ソロアルバムをジャマイカで録音、ボブ・マーレー&ウェイラーズの全面協力を得て世界発売。これまでにレコーディング楽曲は、25,000曲を越えている。また、MISIA、坂本龍一、Coba、浜田省吾、尾崎豊、SMAPなどのレコーディングツアーに参加するなど、セッション・プレイヤーとしても活躍。近年は音楽による『メンタルヘルスケア』などにも力を注ぎ、話題のリズムムーブメント、『ドラムサークル』のファシリテーター育成に力を注いでいる。2004年『ドラムサークルファシリテーター協会』を設立し初代理事長。



物部 彩花 もののべあやか

京都府出身

12歳よりアルトサックスを始め、14歳で声楽を学ぶ。

19歳でアルバムデビュー、ラジオ番組 (BayFM) のメインパーソナリティーをつとめる。

2009年リリース「Dear Souls (ディア ソウルズ)」がスウィングジャーナル誌選定「ゴールドディスク賞」を受賞。ジャズ売上チャート2位。2010年「ジャズディスク大賞録音賞」を受賞。

ホイットニー・ヒューストンのプロデューサーとしても名高いナラダ・マイケル・ウォールデン氏や、「煙が目にしみる」、「オンリーユー」などヒットソングを残すザ・プラターズとのライブ共演を果たす。

2013年、美空ひばりの幻の名曲「魂のかげら」を歌い継ぐ唯一の日本人歌手として選ばれ、アルバム

「THE LADY OF SOUL (ザ・レディー・オブ・ソウル)」をリリース。大使館や米軍基地などの公式イベントで様々な国の国歌を歌い、各国首脳陣から高い評価を得る。

2016年、全曲作詞/作曲/プロデュースを手掛けたニューアルバム「五色 (ごしき) のラヴレター」が全国発売。アマゾン人気商品Bot5位、人気商品予約ミュージックヒット3位。

2017年、テレビ東京系列「THE カラオケ★バトル」出演、2度の準優勝。



新倉 壮朗氏

1986年生まれ。ダウン症。幼少より音に豊かな反応を示し、

特にリズム感には抜群で、体や楽器での表現は目を見張るものがあった。

8才の頃、即興弾きするピアノの音はすでに独特の世界を持っていた。

11才の時、アフリカのセネガルの太鼓「サバル」を知る。

2002年より「新倉壮朗の世界」と題して定期的にコンサートを開き、ピアノ、マリンバ、鍵盤ハーモニカ、バ90年代後半バール、ジャンベ、ドラムetc.でパワフルなステージを繰り広げている。



ワガン・ジャイ・ローズ氏

1971年セネガルのダカールで生まれる。

父はセネガルの人間国宝であり文化の担い手であるグリオのドゥ・ツァイ・ローズ。大家族の中で18番目に生まれたワガンは、厳格な父のオーケストラの一員としてサバールを徹底的に教え込まれる。

90年代後半、日本に移住しサバール、そしてセネガル文化の伝道師として各地でワークショップを開催また、Rolling Stones、Stevie Wonder、James Brownをはじめ世界的なミュージシャンとの仕事も多く、2000年1月には父のグループの一員として全米50ヶ所に及ぶツアーを行った。

2002年システムレーベルから自身のアルバム"NDADJE"を発表。

最近では日本のミュージシャン達との交流も深く、林英哲、加藤登紀子、渡辺貞夫、坂田明、綾戸智絵などのグループでも活躍。ジャンルを超えた表現力でアフリカンミュージックの真髄を伝え続けている。



荒川知子とファミリーアンサンブル

荒川知子は千葉市出身。ダウン症の障害を持って生まれました。千葉市内の特別支援学級(たんぼぼ学級)で学び、中学校から仙台に転居。いずみ養護学校の高等部・専攻科を卒業。現在、仙台市泉区にある作業所「すていじ仙台」でケーキやクッキーを作っている。荒川知子とファミリーアンサンブルとして、全国各地で演奏活動を続けています。

父はフルート、母はピアノ教師、兄は新日本フィルハーモニー交響楽団のフルート奏者の音楽一家。

幼少の頃から音楽に親しみ、特にリコーダーでその才能を発揮し、コンサートでは笑顔ともに美しい響きを皆さんに喜んで頂いています。

CD「イーハトーブ ウィンズ」、「ありがとうの音楽」(コロムビア)で「愛の唄」、「荒川知子とファミリーアンサンブル」のオリジナルCD「みんなしあわせ」、「しあわせのたね」を発売。2016年3月 新CD「しあわせの木」を発売し、現在も全国で大好評を博しています。

宮城県共同募金会「赤い羽根親善大使」、三重県四日市市「全国ファミリー音楽コンクール」現地特班員として委嘱を受け全国で活躍しています。これまで「荒川ファミリーサイト」として「東京新宿文化ホール」、「川口リリアホール」、「三重県四日市市文化ホール」、「仙台市青年文化ホール」、「仙台川内菰ホール」等の他、千葉、群馬、広島、熊本、鹿児島、京都等と全国各地で演奏を実施しています。



猪狩 太志氏

仙台を中心にボーカリストとして活動。他にもボイストレーナー、アーティストプロデュース、ゴスペルディレクター、音楽制作、イベント制作など独自のスタイルで活動続ける。

『音楽で仙台を元気に!』という想いから「とっておきの音楽祭」立ち上げから参加。現在は音楽祭の音楽プロデューサーを務めている。



♪ 司会者プロフィール



前田 由梨

兵庫県明石市出身。高校を卒業と同時によしもと新喜劇に入団。娘役として多くの舞台に出演。拠点を東京に移し、新喜劇に限らず様々な小劇場で出演を重ねる。よしもと新喜劇脱退後は、絵本の読み聞かせパフォーマーとして活動。書店や学童で絵本の読み聞かせを行う。現在は、声を使ったパフォーマンスと同時平行して、アクセサリーなどの創作をおこなっている。



吉本 真梨

皆様初めまして。春ですねー♪笑顔満開♡お元気ですか?私は広島県出身の表現者、吉本真梨です。今回は面白いご縁によって「とっておきの音楽祭」を知りました。人間みな幸せに生きるために、本来ある力を最大限に活かし、音楽の力をお借りして交流を深めていきたいと考えています。宜しくお願いします(*^^*)